



Welby エンジニアの就業環境



1.エンジニアリングスタック

1) インフラ

- AWS (EC2/ECS/S3/RDS/Cognito/ALB/Route53/Lambda/APIGateway/CloudFormation)
- GCP (Big Query/Firebase)

2) OS/ミドルウェア

Linux、MySQL、NoSQL

3) データ管理

HL7 FHIR (医療情報の交換と共有を目的とした次世代の標準規格)

4) 言語/フレームワーク

- サーバサイド : golang / Fiber、PHP
- アプリサイド : Dart / Flutter、swift、kotlin
- WEB : TypeScript / Vue.js

1) 開発

Backlog(Wiki/Git/課題管理/タスク管理/プルリク/ガントチャート)、Circle CI、JetBrains、Visual Studio、XCode、Android Studio、DockerDesktop、Postman、Insomnia、DBeaver

2) 保守/管理

CloudWatch、Datadog、Swagger

3) セキュリティ

AWS WAF、AWS GuardDuty、AWS Inspector、AWS SecurityHub、OPSWAT Deep CDR

4) データ

AWS RedShift、AWS Glue、Looker Studio、Tableau、Apps Flyer

5) デザイン

Adobe Creative Cloud

3.開発業務関連事項

1) 規程類整備

- 開発サービス規程/各種SOP(標準手順書)/マニュアル・ガイドラインの3層で業務標準化
- 各ドキュメントのテンプレート

2) 開発手法

ウォーターフォール型(アプリ開発)、アジャイル型(機能開発、サービス開発、部品開発)

3) 3環境の実装

本番環境/開発環境/検証環境

4) セキュリティチェック

脆弱性対応：OWASPTop10、OWASP API Security Top10、MobileOWASPTop10、MobSF
手法：ホワイトハッカーによるペネトレーションテスト、診断ツール「VADDY」

5) 参照ガイドライン

- ISO27001(ISMS) / ISO27017
- ER/ES指針 (医薬品等の申請等において電子的記録で提出する際に求める要件をまとめたもの)
- コンピュータ化システムバリデーションガイドライン
- 3省2ガイドライン (医療に関する情報を取り扱う事業者が準拠すべき医療情報の保護に関するガイドライン)

4.エンジニアにとっての魅力

- 1) 主体的な開発でのやりがい
 - 自社プロダクトであること
 - アーキテクチャを自社で決めていること
 - 正社員PMを中心としたプロジェクト体制

- 2) 成長の場であること
 - 週例の勉強会、エンジニアチーム定例での輪講
 - 業界団体との連携・リード（例：PHRサービス事業協会）

- 3) 得られるスキル・経験（定性面）
 - 医療データの取り扱い・実装スキル
 - 実装品質の担保する手法・プロセス
 - セキュリティ対応・対策スキル
 - 開発プロジェクト管理、製品プロダクト管理の知見

- 4) 社会貢献性が高いこと
 - 利用者（患者）への貢献
 - 医療・製薬業界、医療・保健施策への貢献

※ユーザリアクションを直接聞かせていただく場もあります。

1) 作業端末

- Windows or Mac貸与 ※エンジニアはMac
- オフィスのフリーアドレス席に大型ディスプレイ設置（端末を接続して利用可能）
- オフィスではWiFi接続、在宅時は個人の通信環境（在宅勤務手当支給あり）
- 電話の貸与・割り当ては無し（日々のコミュニケーションは基本的にSlackで実施）

2) OAツール

Google Workspace（Gmail/Google Drive/Google Calendar）、BOX

3) 業務ツール

Salesforce、TeamSprit、奉行クラウド、パソコン決裁クラウド

4) コミュニケーションツール

Slack、Meet、Zoom、Teams

5) 勤怠

- リモートワーク主体（週1~2日オフィス出社あり）
- フレックス（コアタイム10時-15時）
- 有給休暇入社日に10日付与、夏季休暇3日付与（取得しやすい環境です）